

特別養護老人ホーム 晴山苑

令和4年度 事業計画

概要

特別養護老人ホーム晴山苑は、昭和52年4月1日に開設し、現在は特別養護老人ホームの他にショートステイサービス、デイサービス、訪問介護、居宅介護支援事業所の各種在宅介護サービスを併設しております。千葉市ならびに隣接する八千代市、習志野市等地域にお住まいの高齢者の方を対象に「必要とされるサービス」を「必要とされる時」に「必要とされる場所」で「ご利用者の皆様の満足感・安心感・信頼感の得られる介護サービス」を一体的に提供することを第一義としています。

基本方針

- ご利用者の身になって、「思いやり」・「いたわり」・「気配り」の行き届いた家庭的な接遇を実践します。
- 職場には、向学心・向上心に応えうる勉学・研修の機会を十分に確保し、チームワークと家庭的な雰囲気重視した職場づくりを進めます。

1. 特別養護老人ホーム

特別養護老人ホーム晴山苑の令和3年度施設稼働率は95.5%(令和4年1月末時点)と、前年度の96.8%より低下しました。令和4年度はコロナ禍を鑑み下記の対策を実施し、稼働率95.5%以上を目標に取り組んでいきます。

1) 収支状況の改善

令和3年度の収支(令和3年12月末時点)の状況をみると、経常増減差額は令和2年度に比べ減少しています。稼働率低下が大きな要因ですが、支出についても増加している項目があります。そのため、以下の対策を講じて収支状況の改善を図ります。

(1) 稼働率の向上

施設稼働率を1%上げることで約2,500,000円の収支状況改善につながります。そのため、下記の取り組みを実施し、稼働率の向上を目指します。

①入退所に伴う空床期間の削減

- ・退所から入所までの業務フロー見直し
- ・入所順位決定待機者数の増加
- ・グループ内各施設・事業所との連携強化

②入院日数の減少

脳疾患や心疾患による長期入院(90日以上)の減少に努めます。

- ・病院との情報共有
- ・長期入院となる場合の家族へのアプローチと退所勧奨、退所後のサポート
- ・入院理由の把握と対策

- ・利用者の自立支援促進やADLの向上

(2) 新規加算の算定

新規加算の算定に向け順次体制を整えていきます。

- ①認知症専門ケア加算Ⅰ及びⅡ
- ②安全対策体制加算
- ③科学的介護推進体制加算Ⅱ

2) 経費支出の削減

昨今の物価高騰や感染対策費用増加などにより、経費支出が増加しています。そのため、以下の対策を講じて支出の削減に努めます。

- (1) 節電、節水、エアコンの温度調整などを行うことで水道光熱費を削減
- (2) 業務見直しや削減、システム化を行うことで不要経費を削減
- (3) 定期的な設備メンテナンスを行うことで故障による修繕費を削減

3) 利用者満足度向上につながる、良質な介護サービスの提供

令和3年度満足度調査では、総合的な満足度で96.3%の高い評価を頂くことができました。しかし、個々の項目を見ていくと80%を下回る評価も見られるほか、ご利用者やご家族からも多種多様なご意見を頂いております。そこで、以下の対策を講じて満足度向上につながる良質な介護サービスを提供して行きます。

(1) 苑内・苑外行事の実施

新型コロナウイルス感染対策のため、面会制限やボランティア行事の中止など利用者の楽しみが減少しています。コロナ禍においても利用者に楽しんで頂けるよう以下の取組を行っていきます。

- ①食事に関する企画(イベント食、出前、テイクアウト)などの実施
- ②外出(ドライブ等)企画の実施
- ③各フロアにて毎日のアクティビティーの実施

(2) 職員の力量向上

良質な介護サービスを提供するためには、サービスを提供する職員の力量向上が欠かせません。そのため、力量向上に資する以下の取組を行っていきます。

- ①介護福祉士取得に向けた、介護職員初任者研修や実務者研修の受講支援
- ②認知症介護に係る各種研修の受講支援
- ③喀痰吸引等研修の受講支援
- ④力量向上に資する各種研修の受講支援

4) 施設整備に関する計画

(1) 設備更新

- ①換気扇の修理
- ②居室トイレ全台入替(3年計画)

2. ショートステイサービス

令和3年度は稼働率85.8%（令和4年1月末までの平均）と前年度の稼働率87.5%と比べ1.7%低下しました。前年度から長期間利用者へ利用主軸を移行する取り組みを行っております。前年度の取り組みを継続しつつ、令和4年度は、稼働率90%を目標に、以下を重点施策とします。

1) 稼働率の向上

(1) 長期間利用希望者への対応

①病院との連携強化

退院後に自宅復帰することが難しい利用者のショートステイへの受け入れ

②利用希望者からの連絡対応強化

問い合わせに即時対応できる体制作り

(2) 柔軟な受け入れ体制の整備

必要とされる時にサービス提供出来る事が稼働率向上にも繋がると考え、以下の取り組みを行います。

①速やかな入所受け入れ態勢強化

利用希望者に対し、医療、現場の職員間による速やかな受入れ体制の構築

(3) 長期間利用者の入院の減少

入院予防は稼働率向上に必須であり以下の対策を講じて入院者数の減少に努めます。

①アセスメントの強化

身体面、医療面、精神面の情報を収集力の向上

② 観察力、判断力の向上

気づきによる病状悪化の阻止、事故の予防策考案

③ 利用者のADLの低下予防

日々のケアの中での自立支援の促進や有する能力の維持

(4) 良質なサービスの提供

①家族介護負担の軽減

利用者の急な体調変化も看護師と連携して柔軟に対応し、利用者の家族の身体的及び精神的負担を軽減

②個別ケアの徹底

職員間で利用者の情報共有を図り、個別ケアを徹底

③チームケア

定期会議にて情報共有、職種間の連携を図り、目指すべき目標に対し意識の統一

④利用者満足度の向上

満足度調査の結果を元に、業務内容を改善

(5) 介護職員の力量向上

優良なサービスを提供し続ける為、下記を実施して参ります。

- ①介護福祉士取得に向けた、介護職員初任者研修や実務者研修の受講推進
- ②外部研修の参加
- ③内部研修の定期開催

2) 施設整備に関する計画

(1) 設備更新

- ①換気扇の修理
- ②居室トイレ全台入替（3年計画）

3. デイサービス

令和3年度は、平均利用者数24.7名（令和2年度26.2名、）の実績となりました。新型コロナウイルス感染予防対策として、利用者同士の席の間隔を広くとり、密にならないようにしている為、利用者数が減少しております。令和4年度は、平均利用者数25.0名を目標に、以下を重点施策とします。

1) 新規利用者獲得の為の介護支援専門員との信頼関係の構築及

(1) 日々の報告

- ①利用者の日々の変化の報告を、電話やファックスを使用し毎日行う。
- ②レク活動やリハビリの報告を、写真等を活用し分かりやすく報告

(2) 振替利用の受け入れ

- ①急な利用日の変更依頼にも迅速に対応
- ②振替利用、追加利用の促進

(3) ホームページの活用

2) 業務の効率化

(1) マニュアルの見直し

担当別の1日の業務の流れを見直し、より効率的に業務を行う事により利用者とのコミュニケーションに係る時間を増やし、利用者満足度、職員満足度の向上

(2) 超勤の削減

職員の疲労やストレスを解消し、毎日笑顔で業務を行える環境作り

4) サービスの質の向上

(1) 内部研修の開催、参加

介護の基礎知識を繰り返し学び、利用者の自立支援について考える力を育成
提案力、解決力、報告力の習得

(2) 内部研修講師の担当

他者へ教える事により、自身へ知識の定着、伝える力の習得

(3) 意識の向上

デイサービスの知識、技術において、職員一人ひとりがデイサービスのプロとしての意

識を持ち、介護支援専門員と連携

(4) 利用者満足度の維持・向上

新型コロナウイルス感染対策を講じながら、アクティビティーの実施

- ① 苑庭や花島公園を利用したリハビリの実施
- ② 展示会の開催
- ③ おやつレクリエーション

4. ヘルパーステーション

令和3年度は、平均利用者数 11.8 名（令和2年度 15.2 名）、の実績となりました。訪問介護は高齢者の在宅生活を支える基幹となるサービスとして重要性を増し、効率よくかつ質の高いサービス提供が求められております。その為には、それぞれの介護職の有する知識・技術を効果的・効率的に活用していくことが重要となってきます。そこで令和4年度は、以下2点を重点施策とします。

1) サービスの質の向上

(1) 内部・外部研修の参加

- ① 利用者の尊厳と自立の支援にむけて、利用者本位の介護の徹底
- ② 観察力、判断力、業務遂行力、職種連携力の向上
- ③ サービス提供責任者の対応力、多職種・他機関との連携力の向上

(2) 介護技術向上の為のOJT指導

2) 利用者満足度の維持・向上

- (1) 「思いやり」「いたわり」「気配り」の行き届いた家庭的な接遇の実施
- (2) 利用者一人ひとりのニーズを把握し、適切なサービスの実施
- (3) 専門職として利用者や介護している家族への適切なアドバイスの実施

5. ケアプランセンター

現在、晴山苑ケアプランセンターはパート職員を含め 10 名体制となっております。高齢者の生活を守り支えていくためには更なるケアマネジメントの質の向上が求められています。

今後も質の高いケアマネジメントを維持する為に、令和4年度は以下3点を重点施策とします。

1) ケアマネジメントの質の維持・向上

- (1) 外部研修への参加
- (2) 定期的な事業所内研修の継続
- (3) 新人職員の為の教育プログラムを策定、実施

2) 特定事業所としての取り組みを実施

- (1) 定例会議の開催を継続

- (2) 他法人と年2回の共同事例検討会
- (3) 介護支援専門員実務研修への協力
- (4) あんしんケアセンターとの連携
 - ① 困難ケース等の積極的な受入れ
 - ② 地域ケア会議への協力

3) 利用者満足度の維持・向上

- (1) 利用者満足度調査の実施
- (2) 結果に対して適切な対応と分析

コンプライアンス活動計画

晴山会コンプライアンスマニュアルに則り、基本姿勢、基本原則を遵守し、介護保険法令や労働基準法令に基づいて施設運営が行えるよう、日々の業務を通じて確認を行います。また、研修等を通じて各法令について学習し、法令遵守の徹底を図ります。

行事計画・会議、委員会計画・研修計画

	行事	研修	会議・委員会
4月	花島観音祭 お花見ドライブ	新規採用職員研修 倫理規定研修 高齢者虐待防止研修	会議 [月1回開催] 施設運営会議
5月	菖蒲湯 千葉市動物公園外出 避難訓練 職員健康診断	介護福祉サービス研修 褥瘡予防研修	ケアリーダー会議 サービス担当者会議
6月	災害時安否確認メール訓練	食中毒予防研修 身体拘束廃止研修	フロアー会議 デイサービス会議
7月	変わり湯 おやつバイキング	疥癬予防研修	デイワーカー会議 ショートステイ会議 ヘルパー会議
8月	夕涼み会	リスクマネジメント研修	給食会議 医務室会議 [週1回開催]
9月	敬老会 彼岸供養 葛西臨海水族園外出 総合防災訓練		ケアマネ会議 [各利用者年2回] ケアプラン会議
10月	千葉市花の美術館外出 職員健康診断 変わり湯 花見川区民祭り	看取り介護研修	委員会 [月1回開催] 入所検討委員会
11月	夜勤帯防災訓練	インフルエンザ研修 ノロウイルス予防研修	身体拘束廃止委員会 衛生委員会

		MRSA 対応研修 身体拘束廃止研修	感染対策委員会 [年6回開催]
1 2月	クリスマス会 ゆず湯 餅つき 夜間通報訓練	咽頭物除去研修	リスクマネジメント委員会 [年4回開催] 医療的ケア対策委員会
1月	新年会 獅子舞	医療的ケア研修 褥瘡予防研修	[年3回開催] 褥瘡対策・排泄委員会
2月	節分豆まき おやつバイキング	リスクマネジメント研修	[その他] 行事实行委員会
3月	さくら祭り 彼岸供養	認知症ケア研修	防火管理委員会 入浴委員会 生活・給食委員会 環境委員会 高齢者虐待防止委員会